

◆2/23 (水) 映画「幸せの経済学」完成試写会・対談 取材依頼 (@東京)

【完成試写会 および 来日特別対談】

ローカリゼーション運動のパイオニア、ヘレナ・ノーバーク=ホッジさんが来日！

ヘレナ・ノーバーク=ホッジ

(映画「幸せの経済学」監督)

×

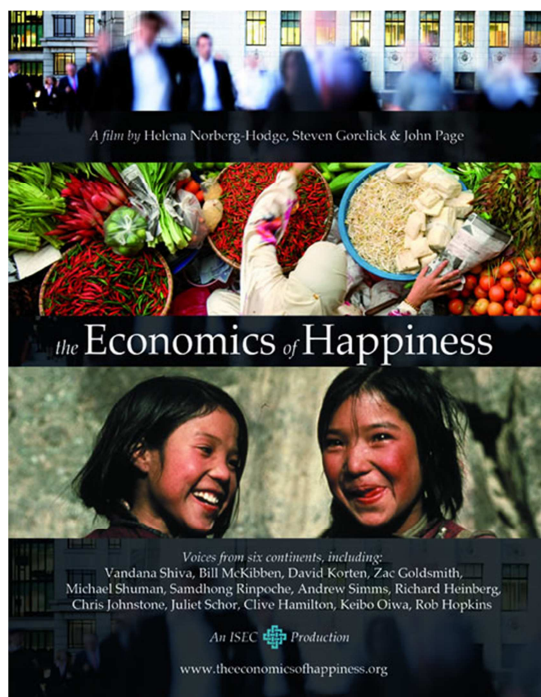
丹羽順子(koko)

(サステナビリティ活動家、ラジオDJ)

×

鎌仲ひとみ

(ドキュメンタリー映像作家『ミツバチの羽音と地球の回転』)



世界数十ヶ国でロングセラーとなっている「ラダック懐かしい未来」の著者であり、**世界のローカリゼーション運動のパイオニア、ヘレナ・ノーバーク=ホッジさん**の最新ドキュメンタリー映画「幸せの経済学」が、5年の歳月を経てついに完成致しました。そこで2月23日(水)、立教大学にて完成試写会を開催致します。この映画はローカリゼーションの重要性を訴える内容となっており、日本公開は5月からを予定しております。

このイベントは昼と夜の二部構成となっており、ヘレナさんの前作「懐かしい未来」のダイジェスト版も特別上映致します。監督のヘレナさんも来日し、サステナビリティ活動家の丹羽順子(koko)さん(第一部)やドキュメンタリー映像作家の鎌仲ひとみさん(第二部)らと共にトークを行います。お2人を引き出し役に、現在国内外で起きつつあるローカリゼーション・ムーブメントについてや、それが社会全体や身近な生活の中でどう関係しているのか、といったお話をさせていただきます。今、問われる幸せとは何か。ヘレナさんの「幸せの経済学」は一つの道筋を示してくれる内容です。**ぜひご取材ください。**

◆なぜ今、ローカリゼーションなのか？

今まで世界では、国の豊かさを測る指標として「国内総生産：GDP(Gross Domestic Product)」などが使用され、経済成長を遂げることが豊かな国の定義だと信じられてきました。しかし近年、ブータン国王が「国民全体の豊かさ・幸福度」を示す指標「GNH」(「GNP」のP=ProductをH=Happinessに置き換えた造語)を提唱したことにより、「モノではない豊かさ」について多くの人が関心を持ち始めるようになりました。

この映画は、開発という名の消費文化に翻弄されるラダックの人びとの姿を追い、世界中の環境活動家たちが「本当の豊かさとは何か」について説いていく内容となっています。その中で監督のヘレナさんは、ローカリゼーションの促進が、切り離されてしまった人と人、人と自然とのつながりを取り戻し、地域社会の絆を強めていくと語ります。実際に世界では持続可能で自立した暮らしを目指すコミュニティ構築が広がりつつあり、映画の後半では、そのムーブメントの事例を紹介しています。

新しい豊かさの指標「GNH」が広まる中、持続可能で幸せな暮らしをどう作っていくべきなのか。そのヒントは、人と人の繋がりを重んじる日本の伝統文化の中にもあるのではないのでしょうか。この映画は、その気づきを我々に与えてくれるでしょう。

完成試写会 および 来日特別対談

- 【日時】 2011年2月23日(水)
* 第一部 13:30~17:00 (13:00 受付開始) * 第二部 18:00~21:15 (17:30 受付開始)
- 【会場】 立教大学 池袋キャンパス 14号館 301教室
<http://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/campusmap/>
- 【参加費】 一般 1,000円 学生 500円 (当日払い) **プレス関係者 ご招待**
- 【募集人数】 第一部 150名 第二部 150名 (先着順) (入れ替え制)
- 【主催】 NPO法人 懐かしい未来
- 【共催】 ヘレナさん来日上映会実行委員会、トランジション・ジャパン
- 【配給】 ユナイテッドピープル株式会社
- 【トークゲスト】 ヘレナ・ノーバーク=ホッジ、丹羽順子 (第一部)、鎌仲ひとみ (第二部)

◆プログラム

◎第一部

時間	内容
13:30-14:00	映画「懐かしい未来」ダイジェスト版 特別上映
14:00-15:20	映画「幸せの経済学」上映
15:30-17:00	テーマ【食・健康・子育て】ヘレナさん、丹羽順子さんトーク

◎第二部

時間	内容
18:00-18:30	映画「懐かしい未来」ダイジェスト版 特別上映
18:40-19:50	映画「幸せの経済学」上映
20:00-21:15	テーマ【お金・働き方・エネルギー】ヘレナさん、鎌仲ひとみさんトーク

◆トークゲスト・プロフィール

<ヘレナ・ノーバーク=ホッジ>



スウェーデン生まれ。ISEC (International Society for Ecology and Culture) 創設者、代表。世界中に広がるローカリゼーション運動のパイオニア。1975年、言語学者としてインドのラダック地方に入り、ラダック語の英語訳辞典を制作。以来、その暮らしに魅了され、ラダックで暮らす人々と共に、失われつつある文化や環境を保全するプロジェクトLEDeGを開始。この活動が評価され、もう一つのノーベル賞として知られるライト・ライブリフッド賞を1986年に受賞。著書「ラダック懐かしい未来 (Ancient Futures)」は日本語を含む40の言語に翻訳され、世界各国で高い評価を得ている。

* ISEC: <http://www.isec.org.uk/> * 幸せの経済学 HP: <http://www.shiawaseno.net/>

<丹羽順子> (第一部)

フリーランスのサステナビリティ活動家、ラジオDJ、ドキュメンタリスト。2歳の娘の母。NHK勤務後、ドキュメンタリストとして海外を飛び回る。出産後は都心から鎌倉へ生活の拠点を移し、オーガニックなライフスタイルを開始。古着の交換会「xChange」や、鎌倉を持続可能にする「NPO かまわ」を立ち上げ、新しい社会のデザイン作りに励む。現在はGreen TV ジャパンの映像制作やラジオパーソナリティとしても幅広く活動。

KOKO ONLINE <http://www.junkoniwa.net/>

LOHAS SUNDAY (J-WAVE) <http://www.j-wave.co.jp/original/lohassunday/>

<鎌仲ひとみ> (第二部)

ドキュメンタリー映像作家。エネルギー問題などを切り口に、未来の社会ビジョンを問う作品を提示している。大学卒業後、フリーでドキュメンタリーの現場へ入り、カナダ、米国などで活躍。NHKで医療、経済、環境をテーマに番組を多数制作し『エンデの遺言—根源からお金を問う』の制作にも関わる。監督映画として『ヒバクシャ—世界の終わりに』、『六ヶ所村ラプソディー』、2010年には『ミツバチの羽音と地球の回転』を発表、全国何百カ所を超える自主上映会や劇場公開により広がっている。

映画『ミツバチの羽音と地球の回転』 <http://888earth.net/>

◆映画概要

【作品名】 幸せの経済学 (The Economics of Happiness)

【HP】 日本語：<http://www.shiawaseno.net/> 英語：<http://www.theeconomicsofhappiness.org/>

【制作年】 2010年 【時間】 68分

【プロデューサー】 ヘレナ・ノーバーク＝ホッジ (ISEC 代表)

【監督】 ヘレナ・ノーバーク＝ホッジ、スティーブン・ゴリック、ジョン・ページ

【制作】 The International Society for Ecology and Culture (ISEC)

【配給・宣伝】 ユナイテッドピープル株式会社 (<http://www.unitedpeople.jp/>)

完成試写会参加・取材お申し込み

ヘレナ・ノーバーク＝ホッジ監督への個別取材につきましては、以下の時間で受け付けております。

・2011年2月20日14時-15時 または 2/23映画上映中。その他日程は応相談。

【TEL】 045-212-5559 FAX: 045-212-5772 【e-mail】 film@unitedpeople.jp

映画 『幸せの経済学』 完成試写会・来日特別対談 ご取材・ご参加 返信用紙	
取材 ・ 試写会参加	
(担当：ユナイテッドピープル株式会社 関根) FAX：045-212-5772(この1枚のみをFAXして下さい)	
御社名	
ご所属	
お名前	
ご同行人数	
取材希望日	
ご連絡先	TEL： FAX：
Email	
備考	